

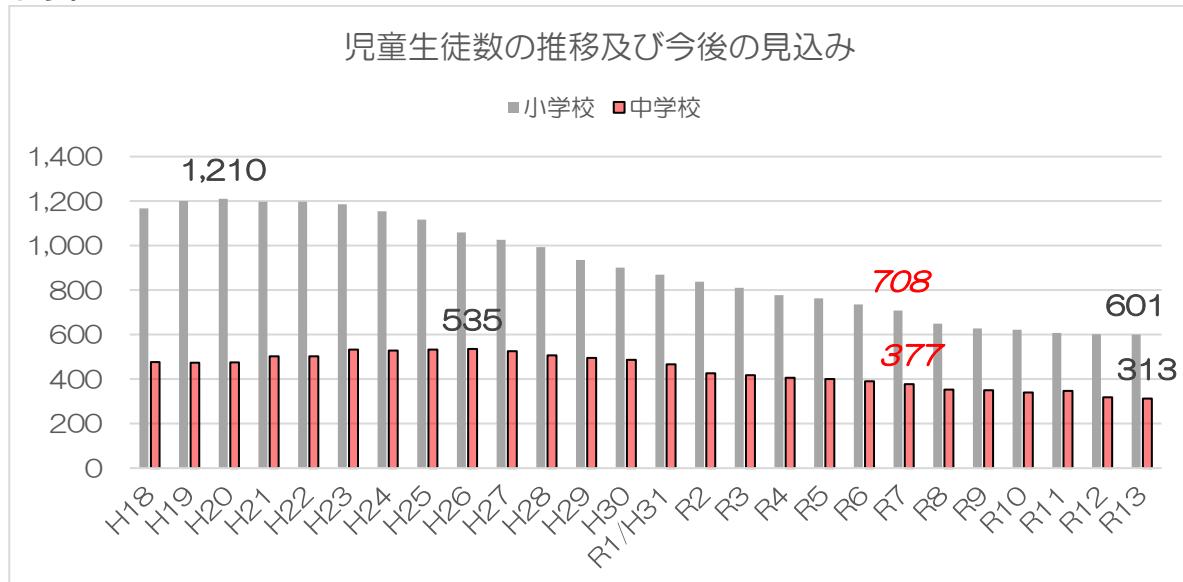
学校の児童生徒数及び今後の教育施設の環境整備について

1. 町立小中学校の現状について

①児童生徒数及び学級数の推移

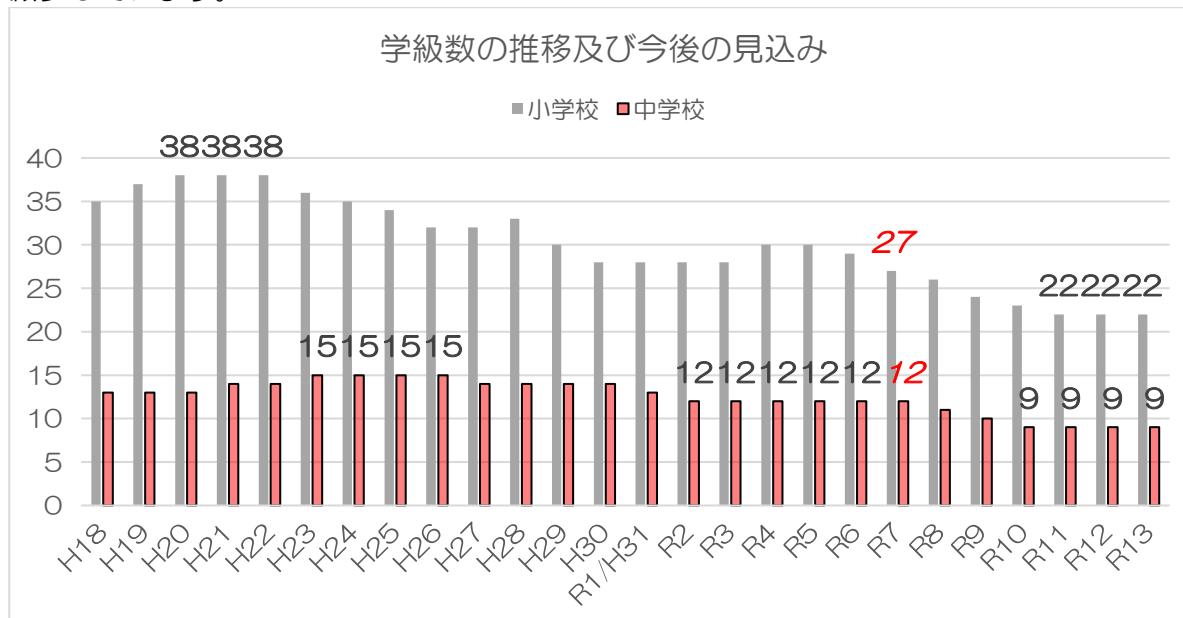
・児童生徒数の推移及び今後の見込み

過去20年間で見たところ児童数は平成20年度、生徒数は平成26年度にそれぞれ最大となり、それ以降は減少を続けています。また、令和7年度に新たに入学した児童生徒数は、最も多かった時期と比較して児童数は50%以上、生徒数は30%以上減少しています。



・学級数の推移及び今後の見込み

過去2年間で見たところ小学校における学級数は平成20～22年度、中学校における学級数は平成23～26年度にそれぞれ最大となり、それ以降は減少を続けています。また、令和7年度の学級数は、最も多かった時期に対して小学校で29%、中学校で20%減少しています。



2 学校施設の現状について

①学校施設の概要

本町の学校施設は、小中学校3校の施設（校舎・屋内運動場等）の延べ面積は19,95m²（忠岡小学校5,265m²、東忠岡小学校7,250m²、忠岡中学校7,440m²）です。

そのうち、約30%の施設は建築後50年を経過し、約80%の施設は建築後40年経過しています。

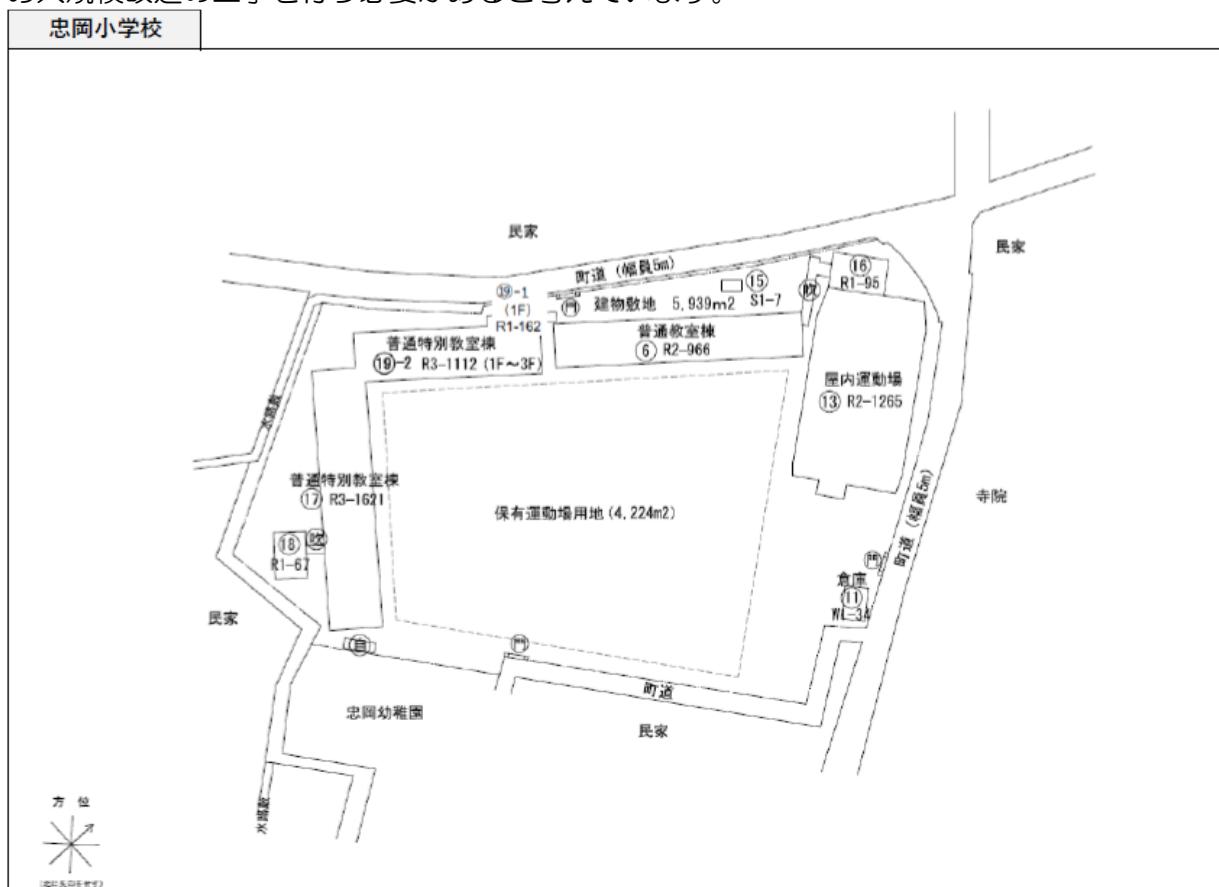
これら築年の経過した学校施設では、建物の各部で老朽化が進行している状況です。

東忠岡小学校の校舎（1棟）校は、平成24・25年度に建替えを行っております。

②各学校の主な施設

＜忠岡小学校＞

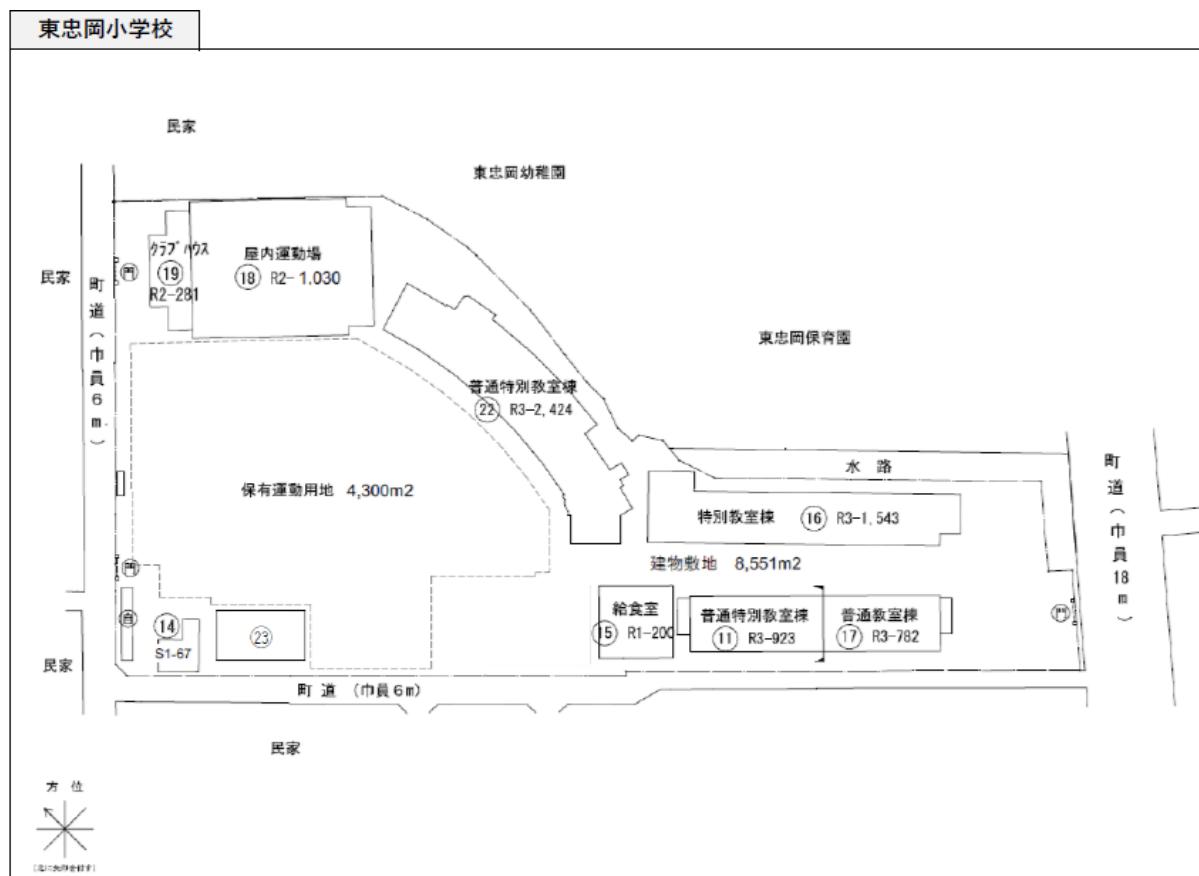
忠岡小学校の学校施設は、全ての施設が築45年以上であり老朽化が深刻な状況であるため大規模改造の工事を行う必要があると考えています。



建物番号	建物名	構造	階数	延床面積 (m ²)	建築年度		築年数
					西暦	和暦	
⑥	旧館	RC	2	966	1963	S38	62
⑬	体育館	RC	2	1,265	1977	S52	48
⑯	屋外便所	RC	1	95	1977	S52	48
⑰	本館（南側）	RC	3	1,621	1979	S54	46
⑲-1、⑲-2	本館（西側）	RC	3	1,274	1977	S52	48

<東忠岡小学校>

東忠岡小学校の学校施設は、3校の内では比較的新しい建物ですが、築40年以上の建物が約70%を占めているため、今後、大規模改造などの手段を講じる必要があると考えています。



建物番号	建物名	構造	階数	延床面積 (m ²)	建築年度		築年数
					西暦	和暦	
(11)、(17)	南館	RC	3	1,705	1976	S51	49
(14)	屋外便所	S	1	67	1979	S54	46
(15)	給食棟	RC	1	200	1979	S54	46
(16)	本館	RC	3	1,543	1981	S56	44
(18)	体育館	RC	2	1,030	1985	S60	40
(22)	新館	RC	3	2,424	2014	H26	11
(23)	学童	RC	1	184	2014	H26	11

<忠岡中学校>

忠岡中学校の学校施設は、築60年以上の施設があるため改築するか、長寿命化の工事を行い学校環境の改善を講じる必要があると考えています。



建物番号	建物名	構造	階数	延床面積 (m ²)	建築年度		築年数
					西暦	和暦	
①-1、①-2、①-3	北館	RC	2	1,420	1960	S35	65
⑤-1、⑤-2	武道場	W	1	144	1956	S31	69
⑧-1、⑧-2、⑧-3	本館（東側）	RC	2	778	1955	S30	70
⑪	体育館	RC	2	1,295	1971	S46	54
⑬	本館（西側）	RC	3	1,689	1974	S49	51
⑯	新館	RC	4	1,562	1980	S55	45
⑰-1、⑰-2、⑰-3	部室	S	1	192	1980	S55	45
⑲	屋外便所	RC	1	20	2014	H26	11
⑳	給食棟	S	1	335	2015	H27	10

③改修の実施状況

学校施設の改修については、3校で耐震性の低い校舎等の耐震改修を平成25年度までに行っています。

普通教室への空調設備の設置については、平成25から28年度に行いました。



東忠岡小学校校舎（H25 年度竣工）
※ 最も新しい学校施設の例



東忠岡小学校校舎（S51 年度竣工）
※ 耐震改修した学校施設の例

3 今後の教育環境について

・学校施設整備の方向性について

令和4年3月に、「新しい時代の学びを実現する学校施設の在り方について」報告書が文部科学省より公表され、その中で学校施設整備の方向性として5つの視点が示されています。

- 安心・安全な教育環境の実現の視点
(主な整備内容) 非構造を含めた耐震対策、老朽化対策、バリアフリーなど
- 持続可能な教育環境の実現の視点
(主な整備内容) 断熱性能の向上、高効率照明の導入
- 柔軟で創造的な学習空間の実現の視点
(主な整備内容) 教室空間の充実、多目的スペースの整備、学校図書館の機能向上、教職員の執務環境の改善、GIGA 端末を活用した学習環境の整備、特別支援学級や通級による指導のための環境整備など
- 健やかな学習・生活空間の実現の視点
(主な整備内容) トイレの洋式化・ドライ化、空調整備、内装の木質化
- 地域や社会との連携・協働の実現の視点
(主な整備内容) 他の公共施設等との複合化・共用化など



読書・学習・情報のセンターとなる図書館



多様な活動ができる空調設備のある体育館



学校施設と公共施設との複合化



学習活動に柔軟に対応できる多目的な空間

※イメージ出典 「新しい時代の学びを実現する学校施設の在り方について」最終報告書より

- 本町における今後の学校施設整備について

本町の今後の学校施設整備は、既存施設を改修して利用していくこととなると考えています。

既存建物の改修は、構造をそのまま利用するため、様々な制約が生じますが、先に示した整備の方向性の中から実現可能で必要な改修内容（改築も含めて）を検討し実施する予定です。

◆令和8年度以降に予定している整備事業

小中学校屋内運動場空調整備、小中学校照明LED化等

※前述の事業については現在予算化されている事業ではありません。